

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	136760
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市版「寺子屋」事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
②支出の根拠	決裁による			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
③支出先	市内26小中学校共生学校づくり推進会議			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対 象	市内26小中学校共生学校づくり推進会議				に対して
	手 段	地域指導者を学校に招いて郷土学習				を行うことで
	受益者	関市立小中学校児童生徒				が(を)
	意 図	地域の自然・文化や生き方を学び、知的好奇心を刺激し、探求心や創造性を育み、郷土に誇りを持ち地域に貢献できる子ども				という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度		年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○ 負担なし	負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	4,505	5,108	5,159	0	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	コロナ禍が明け、外部指導者、地域人材等を招いての授業も増えてきている。そのため、決算としては増額している。					
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	5,159 千円	R5歳出決算額	5,159 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上	
	補助を休止・廃止した場合の影響は		

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	○ 4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	共生学校づくり(特色ある学校経営事業)と統合し、関市版「寺子屋」事業は廃止する。一方で、関市小中学校連合音楽会の廃止(バス確保ができないため)により、市内の各小中学校が横につながる事業が減っている。そのため、中学校区での交流等に活用できる予算の増額もできるとよい。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	へき地複式教育振興会				補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市へき地複式教育振興会					☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						☐ (5) 個人に対する補助金・負担金	
						☐ (6) その他	
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市へき地複式教育振興会				に対して	
	手 段	へき地複式教育の実践交流				を行うことで	
	受益者	関市立小中学校				が(を)	
	意 図	指導力の向上、へき地複式教育の振興				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日					補助開始年度	平成 17 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	☐	補助率を定めている→補助率	
	70	70	70	70	☐	単価を定めている→算式	
	☐	定額補助	☐	その他 ()			
②過去における 見直し状況							
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	70 千円	R5歳出決算額	70 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	☐ 決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	東海北陸地区連合小学校長会教育研究協議会 参加事業補助金				補助 金 の 分 類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					☒ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市小学校長会					☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						☐ (5) 個人に対する補助金・負担金	
						☐ (6) その他	
④国・県の負担	☒ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市小学校長会				に対して	
	手 段	東海北陸地区連合小学校長会教育研究岐阜大会に参加				を行うことで	
	受益者	関市小学校長				が(を)	
	意 図	校長の資質向上を図るとともに、自校の教育の充実・発展				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	昭和 50 年度	
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課		☒ 主に支出先団体	☐ その他 ()			
⑧構成員の負担	☒ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	0	24	0	24	単価を定めている→算式		
	☒ 定額補助	☐ その他 ()					
②過去における 見直し状況	令和5年度は、岐阜県開催のため大会参加費免除						
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	0 千円	R5歳出決算額	0 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☒ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	全国連合小学校長会教育研究協議会参加事業補助金				補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市小学校長会					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5) 個人に対する補助金・負担金	
						(6) その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市小学校長会				に対して	
	手 段	全国連合小学校長会教育研究協議会東京大会に参加				を行うことで	
	受益者	関市小学校長				が(を)	
	意 図	研究成果を関市小学校長会に広げることで、創意ある教育活動の充実及び学校経営能力の向上				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	昭和 50 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	○ 負担なし	負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	0	0	7	16	単価を定めている→算式		
	○ 定額補助		その他 ()				
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	7 千円	R5歳出決算額	7 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137010
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	特色ある学校経営（小学校）				補助金の分類	(1) 一般補助金（団体等への補助金など）	
②支出の根拠	決済による					(2) 事業補助金（団体等事業に対する補助金など）	
③支出先	関市立小学校経営研究会					(3) 一般負担金（団体等への負担金など）	
						(4) 事業負担金（団体等事業に対する負担金など）	
						(5) 個人に対する補助金・負担金	
						(6) その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市立小学校経営研究会				に対して	
	手 段	歴史・文化・自然等地域性を基盤とする教育活動費の一部補助				を行うことで	
	受益者	関市立小学校				が（を）	
	意 図	特色ある学校経営を行う				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	平成 5 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他（ ）			
⑧構成員の負担	○ 負担なし	負担あり		負担額	あたり 円		

2 実績（見込み） 【DO】

①補助金の額 （千円）	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	4,973	5,308	5,100	6,800	単価を定めている→算式		
					定額補助	○ その他（ ）	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	5,100 千円	R5歳出決算額	5,100 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか（あれば名称）	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 （複数選択可）	1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	○ 4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 （改善状況等）	R6より寺子屋事業と特色ある学校経営を統合するため、増額となる。		

No.	※
-----	---

①方 向 性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続		2 補助内容を見直す		3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討		5 終期を設定		6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)						

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137600
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	進路指導	補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
②支出の根拠	決裁による		(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
③支出先	関市中学校進路指導部会		(3) 一般負担金(団体等への負担金など)				
			(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
			(5) 個人に対する補助金・負担金				
			(6) その他				
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市中学校進路指導部会				に対して	
	手 段	進路についての情報収集等のための経費の補助				を行うことで	
	受益者	関市立中学校				が(を)	
	意 図	適切な進路指導を行う				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日					補助開始年度	昭和 40 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	760	739	737	769	☐ 単価を定めている→算式	規模による均等割+生徒数×300円	
					☐ 定額補助	☐ その他 ()	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	737 千円	R5歳出決算額	737 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137600
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	東海北陸地区連合中学校長会研究協議会参加事業費補助金				補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					☒ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市中学校長会					☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						☐ (5) 個人に対する補助金・負担金	
						☐ (6) その他	
④国・県の負担	☒ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市中学校長会				に対して	
	手 段	東海北陸地区連合中学校長会研究協議会				を行うことで	
	受益者	関市中学校長				が(を)	
	意 図	校長の資質向上を図るとともに、自校の教育の充実・発展				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	昭和 50 年度	
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課		☒ 主に支出先団体	☐ その他 ()			
⑧構成員の負担	☒ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	0	24	24	24	単価を定めている→算式		
	☒ 定額補助	☐ その他 ()					
②過去における見直し状況							
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	24 千円	R5歳出決算額	24 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☒ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137600
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	全日本中学校長会研究協議会参加事業補助金				補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市中学校長会					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5) 個人に対する補助金・負担金	
						(6) その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市中学校長会				に対して	
	手 段	全日本中学校長会研究協議会に参加				を行うことで	
	受益者	関市中学校長				が(を)	
	意 図	研究成果を関市中学校長会に広げることで、創意ある教育活動の充実及び学校経営能力の向上				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	昭和 50 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	0	5	7	7	単価を定めている→算式		
	○		定額補助		その他 ()		
②過去における見直し状況	令和4年度は、オンライン開催であったため参加費が5千円						
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	7千円	R5歳出決算額	7千円	翌年度繰越額	0千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)				

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137610
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	特色ある学校経営（中学校）				補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決済による					(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市立中学校経営研究会					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5) 個人に対する補助金・負担金	
						(6) その他	
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市立中学校経営研究会				に対して	
	手 段	歴史・文化・自然等地域性を基盤とする教育活動費の一部補助				を行うことで	
	受益者	関市立中学校				が（を）	
	意 図	特色ある学校経営を行う				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	平成 5 年度	
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他（ ）				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績（見込み） 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	2,700	2,700	2,700	3,600	単価を定めている→算式		
					定額補助	☐ その他（ ）	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	2,700 千円	R5歳出決算額	2,700 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	R6より寺子屋事業と特色ある学校経営を統合するため、増額となる。		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137631
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	スポーツ生徒選手団派遣				補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市中学校体育連盟					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5) 個人に対する補助金・負担金	
						(6) その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市中学校体育連盟				に対して	
	手 段	東海大会、全国大会に出場する選手の経費の一部補助				を行うことで	
	受益者	関市立中学校				が(を)	
	意 図	負担を軽減する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 5 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	昭和 63 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	○補助率を定めている→補助率	1/2
	175	1,198	458	1,180	単価を定めている→算式	
					定額補助	その他 ()
②過去における 見直し状況						
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	458 千円	R5歳出決算額	458 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137700
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	研究指定校（中学校）	補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
②支出の根拠	決裁による		☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
③支出先	関市立中学校研究指定推進部会		☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)				
			☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
			☐ (5) 個人に対する補助金・負担金				
			☐ (6) その他				
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市立中学校研究指定推進部会				に対して	
	手 段	研究指定をし、公表会等による研究成果の共有				を行うことで	
	受益者	関市立中学校				が（を）	
	意 図	指導力の向上				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日					補助開始年度	平成 19 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他（ ）				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績（見込み） 【DO】

①補助金の額 （千円）	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率		
	350	150	300	140	☐ 単価を定めている→算式	市指定研究発表会、課題研究発表会表紙50千円、学力向上研究発表会、発表会20千円	
	定額補助		その他（ ）				
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	300 千円	R5歳出決算額	300 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 （複数選択可）	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 （改善状況等）			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137631
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	中学校体育連盟				補助金の分類	☐	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)
②支出の根拠	決裁による					☐	(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
③支出先	関市中学校体育連盟					☒	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
						☒	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						☐	(5) 個人に対する補助金・負担金
						☐	(6) その他
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市中学校体育連盟					に対して
	手 段	関市中学校夏季総合大会、美濃地区、県大会参加の一部補助					を行うことで
	受益者	関市立中学校					が(を)
	意 図	部活動等の充実強化、生徒の健全な育成					という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	昭和 30 年度	
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	☐	補助率を定めている→補助率		
	1,731	1,730	1,704	1,875	☐	単価を定めている→算式		750円×通常学級 在籍生徒数
					☐	定額補助	☐ その他 ()	
②過去における 見直し状況								
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	1,704 千円		R5歳出決算額	1,704 千円		翌年度繰越額	0 千円
	R5歳入に占める補助金の割合			100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	143450
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市学校保健会				補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	決裁による					☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	関市学校保健会					☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						☐ (5) 個人に対する補助金・負担金	
						☐ (6) その他	
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市学校保健会				に対して	
	手 段	学校保健の普及、充実のための活動の補助				を行うことで	
	受益者	関市立小中学校				が(を)	
	意 図	児童生徒の健康を増進する				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日					補助開始年度	昭和 38 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	1人	あたり	20 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	☐ 補助率を定めている→補助率	
	239	234	229	234	☐ 単価を定めている→算式	27円/人
					☐ 定額補助	☐ その他 ()
②過去における 見直し状況						
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	229 千円	R5歳出決算額	229 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R5歳入に占める補助金の割合		100.0 %	☐ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			